

# Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 水 康徳 編集責任者：桶村清子 34期広報委員会 印刷所：東京印刷㈱

「変革」から「業」へ

## 6月例会報告

平成21年6月18日(木)米子コンベンションセンター小ホールにおいて、第34期を締め括る最終例会が開催された。



綱領唱和に続き、水会長より「皆様のご協力のお陰で無事1年を終えることができました。長の付く仕事の任命責任の重さを学んだ1年だった。」と、感謝の意を述べ、続いて「能、武道を極める際にお

いて用いられる『守破離(しゅはり)』の言葉どおり、何事もまずは基本を習得することが大切。新しいことにチャレンジする際は、その物事の本質を見極める事を意識し、自己研鑽に励んでほしい。」と、来期を目指し決意を新たにする会員に対し、激励の言葉を送った。

次に全日本トライアスロン皆生大会実行委員長の柴野様から、募金やボランティアへの感謝の意と、当会より参加する予定の横山友樹会員並びに宮崎大介会員に対し、激励の言葉を頂戴した。

続いて第34期委員会活動報告が行われた。



初めに登壇した政治行政委員会の茅野真一委員長は、約40年間変更のない線引き制度の見直しについて、視察を含めた数々の研究成果を提言書にまとめ、これを鳥取県、及び米子市に提出する予定であると伝えた。



次に環境問題委員会より森田委員長が「子供たちの未来に向けて」をテーマに、身近な森林を題材にした次世代教育に重点を置き、「環境問題すごろく下敷き」の作成と配布、及びサントリーの開催する森と水の学校への参加も企画したと報告した。



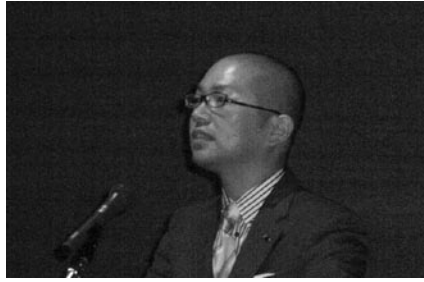
続くNeoラ・ヴィ委員会 川端委員長は、「テーマを『高齢者と子供の関わり』とし、茶豆の栽培を通じて全員で参加できるコミュニティの拡大図った。種まきイベントは多数の参加者を迎え、茶豆は今後も継続して成長を見守っていく。」と述べた。

34期のテーマは「人財と交流」と語るのには、ビジネス委員会 岩垣委員長。物よりも人という商品の価値を高めることが、ビジネスにおいて重要な人財の育成となると考え、経営コンサルタントを招いた経営セミナーの開催などの活動をしたと報告した。





続いて登壇したのはエリアデザイン委員会の茅野康洋委員長。イベント出店を目標としたマグロバーガー、カニミソまんなどの新商品開発や蕎麦作り体験など、新しいビジネスモデルの一環として、あらゆる可能性を追求し実現させたことを報告した。



広報委員会松本委員長は、論語の「述べて作らず。」を例えに採り、今期は改革よりも伝統を守ることに終始した一年だったと語った。そのため、文章の基本的な構成から写真の撮り方、Webサイトの講習会など、ハンサムの編集以外に基礎力向上のための活動に力を注いだと報告した。



様々な会合の企画・運営を手掛ける総務委員会の松田委員長は、メンバー全員が「達成感」を味わうことがテーマである報告した。特にレクリエーション例会では、前日からの泊まり込みで夜を徹しての準備をするなどの思い出を語る場面もあり、テーマに対する真摯な取り組みが窺えた。

続いて35周年事業企画会議代表の小川会員より、会員意識アンケートの提言書について報告があった。会議ではアンケート回答のうち「魅力を感じない例会」の問題に焦点を当て、今後は例会の講師・場所・内容・予算などに十分に吟味したうえ、それらの告知をハンサム・ホームページ上で積極的に伝える努力も必要だという結論に達したと発表した。また、従来の前例や慣習である「委員会主催の担当例会」という概念を外し、年代別や業種別の担当例会など、新しいビジネスモデル構築の可能性を目指した発想も必要だと付け加えた。

この提言書はその後、壇上において水会長より増井次年度会長へと厳粛に手渡され、これを受け増井次年度会長は、「私達自身が私達自身のために何を成すかが重要」とコメントを述べ、決意を強くした。



引き続き新会長の35期方針発表として、増井次年度会長は「人に真似できない技術こそ自分の業(わざ)であり、その業で人を喜ばせてこそ仕事。故に今期のスローガンは『業~WAZA~』とし、また、業(ごう)とも読めるこの一文字を、100年に一度の経済不況を、逆にチャンスとして自然体で受け止める指針として欲しい。」と語った。また、「会員全員が明るく、そして魅力のある会にしていくつもりである。」と強い意志を述べて結んだ。

最後に増井次年度会長から各次年度新副会長、並びに各次年度新理事の紹介があり、そして各新委員長から、35期に向けての抱負と、各委員会新メンバーの名前が読み上げられ、第34期の最後を飾る最終例会は盛況の内に幕を閉じた。

(記事:濱澤)





## 安来商工会議所青年部との交流会



平成21年5月31日(日)安来市広瀬町の八幡グラウンドゴルフ場にて3回目となる安来商工会議所青年部との交流会を開催致しました。

最初に水会長の挨拶と始球式でグラウンドゴルフをスタートしました。

中央会の会員はグラウンドゴルフの経験者が少なかったのですが、なんとホールインワンを出した会員が3名もいました。更には岩田会員がロングホールをホールインワン狙いでかっ飛ばし、グラウンドゴルフでは珍しいOB。(河川敷の草むらにボールが落ちロストボールとなるトラブルも発生しました。)

天候は曇り空で絶好のグラウンドゴルフ日和とはいきませんが、安来YEGの参加者には女性の会員(どこかで見た顔だと思ったら松田委員長のお姉さん。)もおられ、華やかな雰囲気の中グラウンドゴルフが終了しました。

その後、バスにて富田山荘に会場を移し、懇親会を前に広瀬町の街を眼下に望む絶好のロケーションの露天風呂で温泉を楽しんで頂きました。

そして安来YEG渡部直前会長の乾杯挨拶、当会岩田会員と安来YEGの前田会員の山陰酸素工業同期コンビの名司会で懇親会がスタートしました。

お風呂上りで皆様が待ちに待ったビールで喉を潤している中、気が付くと2名の会員(佐々木会計担当理事と茅野康洋委員長)は、すでに次々とビール瓶を平らげる宴会状態。

続いて、グラウンドゴルフの表彰式では1位から順番に景品を選んで頂きました。全員にもれなく景品が行き渡り、ご家族への良いお土産になったのではないかと思います。(協賛頂きました会員の皆様誠にありがとうございます。)

会の最後に各会の新役員の紹介を行い、1年の抱負を語って頂き、安来YEGの本間会長から締めめの挨拶があり、お開きとなりました。

約1時間30分の懇親会でしたが、お互いの会に対する理解と親睦を深めることができ、大変有意義な会になりました。

交流会に参加したことで知り合いが増え、今後のビジネスシーンにおいて役に立つ良い機会であったと思います。

最後に、この交流会にご参加頂きました会員の皆様、ビジネス委員会のメンバー、またご協力頂きました全ての方に感謝申し上げます。(記事:ビジネス委員会 岩垣)



## OB訪問



村岡誠一OB

(32期卒会)

今回は「中央会で大活躍する為には…」この秘訣を探りに私の中央会への推薦人でもあり、また高校の大先輩でもある村岡OBへ訪問いたしました。

広報委員会として取材で伺ったのにもかかわらず、実際取材に移れたのは開始から30分程度経過した後でお変わりのないバイタリティにただただ脱帽した次第です。お話しを伺った中で、大変興味深く心に残ったことをご紹介します。

### ○人の話しを注意深く聞くこと。

「人前で上手く話すことができる方とそうではない方の話し方・滑舌など、聞きながらにして勉強できることはたくさんあります。上手く話す方は急に振られても必ず上手に話されるでしょ？場数も大切ですが、考えながら場数を踏まなければ向上は望めません。」

### ○懇親会の司会を積極的に引き受ける。

「台本・シナリオがある例会の司会とは違い、その場その場で空気が変わる懇親会の司会は非常に難しく、勉強させられることが多々あります。その場にあった仕切り、振りなどを即興で行う必要がありますからね。」

やはり率先して様々なことを引き受け、常に学ぶ姿勢が重要であることをこの度の取材で改めて感じました。

最後になりますが、現役会員に一言いただきました。

「せっかく貴重なお金・時間を費やしての中央会活動なので、自分を生かすためにも頑張って参加してください。そして、毎月行われる委員会活動・例会には必ず勉強できる“何か”があります。それを見出すのも、すべてはあなた次第です。それに多種多様な異業種の集まりなので周りには普段自分では気がつけないヒントがたくさん転がっています。コレを活用しない手はないですよ。そして人脈という素晴らしい財産をより多く作って欲しいと思います。」

(記事:高塚)

## 平成20年度 新入会員オリエンテーションを終えて

平成20年度新入会員オリエンテーションは、6月22日月曜日19時から米子食品会館にて、今年度入会の新入会員7名、松本会員・横山会員・濱澤会員・廣山会員・西村会員・佐藤会員・私、長尾を対象に行われました。長谷川副委員長の開会・互礼から、綱領唱和を行い、水会長のご挨拶等があり、中村専務理事によるご説明がありました。

会則の読み合わせや、中央会全体の枠組みの中での青年中央会の位置づけや、事務局との連携などのご説明がありました。途中、松田委員長より入会の基準等についてご説明があり、入会して1年経たないと推薦者になれないこと等、細かい規定も学びました。その後、山根副会長より県青中の位置づけや役割のご説明があり、県の下に各東中西があるのではなく、横一線だという認識を新たにしました。最後に水会長より、代表的な活動例などのご説明があり、委員会や個人からの発案が会としての大きな事業に発展する事もある、という説明で本当に様々な事にチャレンジする会だと強く感じました。

7月に入会して、丸1年を総務委員会で過ごさせて頂き、色々経験する中でようやく青年中央会というのがどのようなところがわかりかけてきたところですが、今回の研修でより一層理解が深まりました。

その後、懇親会を炉端かばで行い新入会員の皆様や、役員の方々、総務委員会の皆様とともに楽しく過ごさせて頂きました。途中新入会員の一人一人の決意表明がありました。新入会員の皆様も会に参加していろいろ学びたいといわれ、横山会員のようにトライアスロンに参加される方もおられました。私自身も出来る限り会に参加し、自分自身の意見が言えるように精一杯がんばりたいと思います。

最後になりますがご多忙の中、オリエンテーションを運営して下さいました皆様、本当にありがとうございました。

(記事:総務委員会 長尾寛生)

# 平成20年度鳥取県中小企業青年中央会親睦事業レポート



平成21年 6月 7日(日)、東郷湖羽合臨海公園にて鳥取県中小企業青年中央会親睦事業の大ソフトボール大会が開催されました。当日朝は小雨の降るぱつとしない天気。道中のバスの中も「今日は中止か?」という空気が漂っていましたが、到着する頃には雨も上がり、小椋県会長の号令の下、試合がスタートしました。参加チームは東部3チーム中部1チームそして我ら西部はABCの3チームが出場。各チーム精鋭ぞろい。東部Aチームにいたっては全員ユニフォーム着用の気合の入りがぶり。その姿には、正直驚きました。トーナメントで試合は行われ、共に1回戦を負けてしまった西部B、Cチームは皮肉にも5位決定戦にて対戦。結果15-3で西部Bがワールド勝ち。そして屈辱の西部Cと東部Cの最下位決定戦(涙)。最終回、門脇弘樹会員(通称:清原)のまさかのポロリもあり、サヨナラ負け



寸前でしたが、辛くも逃げ切り全7チーム中6位に留まりました。それとは逆に順調に勝ち上がった西部Aチーム。決勝では宿敵東部Aチームと対戦。B、Cチームも全員集合。今大会は色々な面白いカードが準備されており、「バットのうえに頭をつけ10回ぐるぐる廻ってから打席に入る」(2回戦Aチーム新入会員佐藤会員が餌食)「3ボールからスタート」などありまし

たが、決勝ではそんなカードを使う、おチャラけムード“ゼロ”。応援の皆さんも選手も口をそろえて「ピリーピリしとるなー空気がー」という感じ。「よっエロクリーン(竹ノ内会員)」「よっエロコーチ(白石)」など(全て命名は長谷川洋司会員)壮絶な応援合戦(味方チームから野次の飛ぶ舌戦)も展開されました。結果は残念ながら、6-7で最終回サヨナラ負けをしてしまい相当悔しい思いをしました。次は必ず優勝旗を西部に!と気持ちをひとつにしました。試合の中では、名誉の負傷も続出。



今川会員はセンターフライを見事に捕球後まくれ膝、腕を擦りむき、佐々木会員にいたっては、見事なジャンピングスロー(1mm飛んだ?)後の着地で「パキッ!」と言った足。その後「骨折」の診断には皆心配しておられました。

場所を東郷湖観光ホテルに移しての懇親会・表彰式も盛り上がり、優勝の東部平井会長の嬉しそうな笑顔が印象的でした。山根次年度県会長候補も挨拶され最後に歴代の県会長は手荒い祝福を皆さんから受けておられました。

県親睦事業も今後盛んに行われていくと思いますが、東部・中部・西部の垣根をとった交流を続け、「英知」「友愛」「団結」の綱領の元、鳥取県中小企業青年中央会のさらなる発展を期待します。

(記事:白石)



## 6月度委員会報告

### 政治行政委員会

平成21年6月11日(木)於:まつだ家 米子本店 出席者/9名  
議題/・役員会報告の件  
・香川県庁視察の件

### 環境問題委員会

平成21年6月6日(土)於:三徳山三仏寺、東郷湖 出席者/10名  
議題/・役員会報告の件  
・その他

### Neo・ラヴィ委員会

平成21年6月11日(木)於:レストラン こうりん坊 出席者/10名  
議題/・会員拡大の件  
・車尾の茶豆栽培途中経過報告の件

### ビジネス委員会

平成21年6月8日(月)於:レストラン ぶどうの木 出席者/13名  
議題/・役員会報告の件  
・会員拡大の件

### エリアデザイン委員会

平成21年6月8日(月)於:家楽 出席者/8名  
議題/・航空祭出店反省の件  
・1年間まとめの件

### 広報委員会

平成21年6月4日(木)於:米子コンベンションセンター会議室 出席者/13名  
議題/・ハンサム編集の件  
・6月担当例会の件

### 総務委員会

平成21年6月3日(水)於:炉端かば米子店 出席者/15名  
議題/・新入会員オリエンテーションの件  
・総会・卒開式の件

## 7月新旧役員会報告

7月新旧役員会が平成21年7月1日(水)、米子全日空ホテルにて開催されました。  
当日の主な議題は以下の通りです。  
・6月例会反省の件  
・総会・卒開式、懇親会の件  
・その他

## 【平成21年度総会・卒開式、懇親会のご案内】

と き:平成21年7月15日(水) 18:00~21:15  
と ころ:ホテルサンルート米子  
内 容:総会・卒開式、懇親会  
担 当:新旧総務委員会  
\*閉会后、OBのみなさんもお参加いただける2次会をご用意しております。

## 編集後記

早いもので第34期広報委員会として最後のハンサム発行となりました。

6月例会にて、役員発表会並びに新理事発表がありました。「変革」から「業 waza」へスローガンが引き継がれ、新たに第35期鳥取県西部青年中央会が始動します。34期広報委員会にて、勉強させて頂いた事・吸収させて頂いた事を、次年度に活かせる自分でありたいと思います。

この1年間、OB会員・現役会員の皆様には、取材協力等にご尽力賜りまして、ありがとうございました。広報委員一同、改めてお礼を申し上げます。  
(記事:田中)